

2024年度

事業計画書

公益財団法人京都技術科学センター

I 公益目的事業1（研究助成事業）

技術立国日本を支える科学技術の振興を図るため、若手研究者が行う研究開発に必要な経費を助成するとともに、次年度の研究開発助成対象者を募集し、審査・選考する。

1 2024年度研究開発助成金の交付

2023年度第2回定時理事会で決定した研究開発助成対象者に対し、研究開発に必要な経費を助成する。

- (1) 名 称 2024年度研究開発助成金
- (2) 助成件数 17件
- (3) 助成総額 1,685万円

2 2025年度研究開発助成対象者の募集と選考

2025年度研究開発助成対象者を募集し、審査・選考する。

- (1) 募 集 対 象 近畿地方及びその周辺地域（富山県、石川県、福井県、三重県、中国地方及び四国地方）の大学、工業高等専門学校又は公的研究機関に所属する40歳未満の研究者
- (2) 研 究 分 野 ものづくりに資する基礎的・応用的研究であって、材料、機械、電気電子の各技術分野に属するもの
- (3) 研 究 期 間 原則として2025年4月から2026年3月までの1年間
- (4) 助成上限額 1件当たり120万円
- (5) 助成総額 1,800万円程度

II 公益目的事業2（人材育成事業）

科学技術の振興と産業の発展を担う人材の育成事業を行う。

1 技術セミナー・講座

ものづくり企業の技術者等を対象としたセミナー・講座を開催する。

(1) ものづくり先端技術セミナー

- ア 目 的 先端技術シーズや研究開発の最前線の状況を紹介することにより新技術・新材料等への関心を高め、ものづくり企業の技術の高度化を促進する。
- イ 共 催 京都府中小企業技術センター
公益財団法人京都技術科学センター
- ウ 開催回数 年3回程度
- エ 開催方法 オンラインと会場の併用とする。
- オ 募集人員 ものづくり企業の技術者等 各回30人
- カ 受講料 無料

(2) 産業人材育成基礎講座（新規）

- ア 目的 ものづくりに必要な応用力・思考力を習得する上で必要な基礎的知識を体系的に身に付ける。なお、テーマは毎年度変更することとし、2024年度は、工業材料を対象とする。
- イ 共 催 京都府中小企業技術センター
公益財団法人京都技術科学センター
- ウ 開催回数 年12回程度
- エ 開催方法 オンラインと会場の併用とする。
- オ 募集人員 ものづくり企業の技術者等 各回50人
- カ 受講料 無料

(3) 品質管理セミナー（新規）

- ア 目的 ものづくり現場における生産管理力や製品の信頼性の向上に必要な品質管理・統計解析の知識を身に着ける。
- イ 共 催 京都府中小企業技術センター
公益財団法人京都技術科学センター
- ウ 開催回数 年9回程度
- エ 開催方法 オンラインと会場の併用とする。
- オ 募集人員 ものづくり企業の技術者等 各回60人
- カ 受講料 無料

(4) ロボットプログラミング ファシリテーター育成講座（新規）

- ア 目的 ロボットを使って、小学生が楽しく生き生きとプログラミングを学べるファシリテーターを育成する。
- イ 共 催 一般社団法人次世代プログラミング教育研究会
公益財団法人京都技術科学センター
- ウ 開催回数 年3回（夏休み期間）
①親子プログラミングリアル体験会 1回（親子10組・退職者等20人）
②ロボットプログラミング ファシリテーター育成講座 2回
- エ 開催場所 Wi-Fi環境の整った会場
- オ 募集人員 意欲のある企業退職者等 20人
- カ 受講料 無料

2 技術研究会

京都府中小企業技術センターとの共催で、ものづくり企業の技術者等を対象に、分析評価技術に関する研究会を、専門家を招聘して開催する。

また、関西品質工学研究会との共催で、品質工学に関するシンポジウムを開催する。

なお、開催方法は、会場とオンラインの併用とする。

(1) ものづくり分析評価技術研究会

- ア 目的 高度分析装置を対象に、最新動向から高度な活用技術までを学ぶことを通じて、ものづくり企業の製品開発力の向上を図る。
なお、テーマは毎年度変更することとし、2024年度は、フーリエ変換赤外分光分析装置を対象とする。
- イ 共 催 京都府中小企業技術センター
公益財団法人京都技術科学センター
- ウ 開催回数 例会 年3回程度
- エ 募集人員 ものづくり企業の技術者等 20人
- オ 会 費 年額5,000円/人

(2) 品質工学研究会

- ア 名 称 品質工学シンポジウム2024
- イ 主 催 関西品質工学研究会
- ウ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
中部、滋賀県、広島各品質工学研究会
- エ 開催時期 2024年10月4日(金)(予定)
- オ テーマ 「今後の社会貢献に向けた品質工学の動向」(仮題)
- カ 内 容 基調講演1件、事例発表4件程度
- キ 参加人員 ものづくり企業の技術者等 200人

3 テクノアイデアコンテスト

将来の産業・科学技術の発展を担うベンチャー精神に富んだ起業家や柔軟でユニークな発想を持つ研究者を育成するため、高校生、高等専門学校生、大学生及び大学院生を対象に、技術に関するアイデアを広く募集し、書類審査通過者を対象にコンテストを開催する。

- (1) 名 称 テクノ愛2024
- (2) 主 催 テクノ愛実行委員会
- (3) 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
京都大学産官学連携本部
- (4) 後援(予定) 文部科学省
近畿経済産業局
京都府教育委員会
京都市教育委員会
NHK京都放送局
国立研究開発法人科学技術振興機構
一般社団法人日本ベンチャー学会
関西ベンチャー学会

- (5) 協賛（予定） 大阪大学共創機構
神戸大学産官学連携本部
京都工芸繊維大学産学公連携推進センター
大阪電気通信大学
関西サイエンス・フォーラム
- (6) 応募資格 高校の部 全国の高校生、高等専門学校3年生まで
大学の部 全国の大学生、大学院生、高等専門学校4・5年生・専攻科生
- (7) 応募期間 2024年8月1日～9月10日（予定）
- (8) 審査方法 選考委員による書類審査で、コンテストに進む高校の部、大学の部各9テーマを選考
- (9) コンテスト 開催日 2024年11月23日（土・祝日）（予定）
開催場所 京都大学国際科学イノベーション棟（予定）
- (10) 表彰等 高校の部、大学の部ごとにグランプリ、準グランプリ、優秀賞及び奨励賞を、また総合の部としてテクノ愛賞を選考し、賞状、表彰盾及び副賞を授与する。
また、コンテストに進まなかったテーマのうち、書類審査で健闘したと認められたものに対し、健闘賞として賞状及び副賞を授与する。
- (11) 参加料 無料

4 科学館・技術館訪問研修

中学生及び高校生を対象に、夏休み期間に高い技術力を有する企業等を訪問し、研究開発の歩みや経験、将来展望等の講話を聴くとともに、施設を見学する研修会を開催する。

- (1) 名称 科学館・技術館訪問研修2024
- (2) 後援(予定) 近畿経済産業局
京都府教育委員会
京都市教育委員会
- (3) 開催時期 2024年8月2日（金）（予定）
- (4) 訪問先 ニデック株式会社本社(ニデックパークC棟)（予定）
- (5) 参加資格 近畿地方の中学生・高校生及び教員
- (6) 募集人数 40人
- (7) 参加料 無料

5 科学実験教室

小学生を対象に、科学実験や工作を体験する実験教室を開催する。

京都技術科学センターの主催で行ってきた「おもしろサイエンス・科学実験教室」に加え、2024年度から、京都技術士会理科支援チームが長年実施してきた「子ども理科実験教室」を共催することとする。

(1) おもしろサイエンス

ア 名 称	①おもしろサイエンス2024・夏の実験教室 ②おもしろサイエンス2024・冬の実験教室 ③おもしろサイエンス2025・春の実験教室
イ 協 力	サイエンスEネット
ウ 後援(予定)	京都府教育委員会 京都市教育委員会
エ 開催時期	①2024年 7月20日(土) (予定) ②2024年12月21日(土) (予定) ③2025年 3月15日(土) (予定)
オ 会 場	京都技術科学センター本館1階B会議室
カ テーマ	「リニアモーターカーを走らせよう！」
キ 募集人員	午前の部 小学生16人と保護者 午後の部 小学生16人と保護者
ク 参加料	無料

(2) 子ども理科実験教室(新規)

ア 名 称	子ども理科実験教室2024
イ 主 催	京都技術士会理科支援チーム
ウ 共 催	公益財団法人京都技術科学センター
エ 後援(予定)	京都市教育委員会、京都府教育委員会、東近江市、滋賀県教育委員会
オ 開催時期	京都教室 2024年7月27日(土)、8月10日(土) (予定) 滋賀教室 2024年8月4日(日) (予定)
カ 会 場	京都教室 京都市ひとまち交流館(京都市下京区) 滋賀教室 西堀榮三郎記念探検の殿堂(滋賀県東近江市)
キ 内 容	京都教室 高学年向け4講座、低学年向け3講座、 全学年向け1講座(ひろば) 滋賀教室 高学年向け2講座
	※ 1講座は2コマ(2つの実験テーマ)で構成
ク 募集人員	316人(京都教室244人、滋賀教室72人)
ケ 参加料	一部有料(500円)

6 科学技術情報等提供

ホームページを活用して、当センターが実施する事業やイベントの周知、研究開発助成成果報告書の掲載、各種人材育成事業の開催状況等の情報を提供し、利用者やイベント参加者の拡大を図るとともに、科学技術情報を広く発信する。

Ⅲ 収益事業

当センターが所有する建物・土地を事務室・研究（開発）室・倉庫、駐車場等として賃貸するとともに、会議室を貸し出し、その収益を公益目的事業の財源等として活用する。

この間、トイレの全面改修をはじめ入居者の利便性を向上させる施設改修を積極的に行い、新規入居につなげる循環を創出してきたが、2024年度においても、この取組を継続する。

また、未利用の部屋を研究開発室や事務室等に改修して賃貸収益を増加させてきたが、2024年度においては、地階東書庫を研究開発室2室に改修して賃貸することにより、施設面で科学技術の振興に資するとともに、収益の増加につなげるものとする。

Ⅳ その他

1 長期ビジョンの取組

当センターは、2018年5月に、今後20年間の取組方向を定めた長期ビジョンを決定し、さらに2019年3月に、最初の5年間の取組内容を定めた実施計画を策定し、これに基づき取組を進めてきたが、2024年度は、2023年度第2回定時理事会で決定した第2期実施計画（計画期間：2024年度～2028年度）の取組を開始する。

(1) 第2期実施計画の主な取組内容

ア 公益目的事業

- a 研究助成では、総額2,000万円以上を早期に助成できるようにする。
- b 技術セミナー・講座では、新たに産業人材育成基礎講座・品質管理セミナー、ロボットプログラミング ファシリテーター育成講座を開催する。
- c 小学生を対象とした科学実験教室では、おもしろサイエンスに加え、新たに子ども理科実験教室を京都会場と滋賀会場において開催する。
- d その他の公益目的事業についても、取組内容のレベルアップを図る。

イ 収益事業

未利用の部屋を研究開発室や事務室等に改修して賃貸収益の増加を図る。

- a 2023年度に整備した地階研究室群（7室・約290㎡）への円滑な入居を促進する。
- b 地階東書庫を研究開発室2室に改修して賃貸する。
- c 1階の講堂を貸室2室等に改修する計画については、実施可能性等を検討し、方針を決定する。

ウ 建物・設備の改修等

- a 新規・重点取組事項（廊下の壁・屋内ドアの塗装、会議室の改修、安全の確保、地階における携帯通話環境の改善、居住性の向上等）
- b 第1期の積み残し事項（屋上防水、本館水道引込管・自動火災報知受信機の更新）
- c 継続事項（高圧受配電設備・エアコン・照明器具の更新、廊下の床の剥離清掃）

2 建物・設備の改修等

長期ビジョンの第2期実施計画に基づき、次の工事を行う。

(1) 地階東書庫の研究開発室への改修工事

ア 工事の概要

地階東書庫を研究開発室2室とエアコン室外機置場に改修

a 研究開発室への改修

- ・ 床補修（レベリング打設・長尺シート貼り）、天井・仕切り壁造設、壁補修、扉設置、壁・扉塗装等
- ・ 電気設備の造設（配線・コンセント、エアコン・換気設備・照明器具設置等）
- ・ 給排水設備の造設（給水管・排水管、研究用流し台設置）

b 電気容量の増強（ブレーカー・分電盤・電力量計設置、幹線敷設）

c エアコン室外機置場の造成（既設ガラス窓撤去、外部土間・外壁・外部ドア・ガラス窓・排水口等の造成）

イ 工事費

18,100,000円

(2) 地階東側北廊下及び西側階段天井造設等工事

ア 工事の概要

a 地階東書庫の改修工事と併せて地階東側北廊下に天井を造設するとともに、壁を塗装。併せて、照明器具をLEDに更新

b 西側階段に天井を造設。併せて、照明器具を照度の高いLEDに更新

イ 工事費

1,500,000円

(3) 給排水設備改修工事

ア 工事の概要

長期ビジョン第1期実施計画に基づき給排水設備の改修をしてきたが、まだ施工できていない次の工事を実施

a 本館水道引込管の更新

b 雑排水管（主管のうちポンプアップ配管）の更新

c 汚水管のうち未施工区間の更新

イ 工事費

4,700,000円

(4) 自動火災報知受信機更新工事

ア 工事の概要

1996年製で老朽化している自動火災報知受信機を更新

イ 工事費

1,300,000円

(5) 高圧受電設備更新工事

ア 工事の概要

耐用年数が到来した高圧受電設備（高圧断路器3台、高圧カットアウト10台等）を更新

イ 工事費

700,000円

(6) 貸室改修工事

ア 工事の概要

2024年度に退居することとなった貸室について、内装（床・壁・天井・ドア等の補修）、電気設備（配線、コンセント、照明器具、電力量計等）を更新

イ 工事費

2,000,000円

(7) 会議室改修工事

ア 工事の概要

会議室を年次計画的に改修することとし、2024年度は、B会議室の壁・ドアを塗装

イ 工事費

400,000円

(8) エアコン更新工事

ア 工事の概要

老朽化したエアコンを対象に4台程度更新

イ 工事費

2,000,000円

(9) 照明器具等更新工事

ア 工事の概要

老朽化した照明器具、所定の年数を経過した電力量計等を計画的に更新

イ 工事費

1,000,000円

(10) 本館（マンション部）屋上防水工事

2023年度に工事を実施する予定であったが、共同管理をしているマンハイム鴨川管理組合との協議結果を踏まえ、2024年度に工事内容を再検討した上で、請負業者の選定等を行い、2025年度に工事を実施することとする。